

令和2年度 コミュニティからの意見

城坤 コミュニティ

<p>ご意見 1</p>	<p>通学路の安全確保について</p> <p>1. 要請場所 金倉町 751-2～778-3 の東側市道に隣接する土地</p> <p>2. 現状 「1.要請場所」の立木の枝が道路に伸び通行を阻害しつつある（添付資料参照）</p> <p>児童の下校時刻（14：30～16：00）ごろは、登校時刻（07：00）と比較して車両の往来が頻繁である。</p> <p>貨物系の車両は、乗用車系の車両と比較して車高が高い。立木の枝との接触を回避するため道路西側寄りの走行が散見される。</p> <p>通学途上の児童が被害者にならないか一抹の懸念を抱いている。</p> <p>3. 要請内容 「1.要請場所」の縁石から東へ4mの範囲内に在る全ての立木の伐採をお願いする（立木が成長する前に適切な措置をとる機会は幾度（数年間）もあったものと思料する。道路管理者の責において通学路の安全確保を最優先に恒久的な対処をお願いする）。</p> <p>4. 対応期限 若葉が繁茂して更に視界が悪化しないよう早急に対処をお願いする。</p> <p>（回答）</p> <p>ご要望のあった金倉町 751-2 から 778-3 の東側市道に隣接する土地は、丸亀市が所有する土地と個人が所有する土地があります。</p> <p>そこで、道路に隣接する土地からはみ出した樹木につきましては、個人が所有している土地からであり、その樹木の所有権は所有者の方にあるため、道路管理者では個人が所有する土地からはみ出している樹木の伐採等を行うことはできません。</p> <p>また、今回の要望箇所につきましては、以前から所有者に対して、市道側にはみ出した部分の伐採等を依頼しているところではありますが、十分な対応をしていただけていない状況であります。</p> <p>しかしながら、道路管理者として、通学路の安全確保のため、今後も土地所有者に樹木の伐採のお願いをしてまいります。あわせて、市が所有している土地についても適切に管理を行ってまいります。</p> <p>なお、今回も土地所有者に連絡し伐採をお願いいたしました。</p>
<p>ご意見 2</p>	<p>（経緯）</p> <p>昨年（令和元年7月6日）の懇談会で、その前年の西日本豪雨災害の後であったが、自治会会員 51 世帯に「水害に関する意識調査アンケート」行った。回収率 90%と関心の高さがうかがえた。設問の一つの「近くに危険な川があるか」に対し、金倉川と回答した人が 85%あった。では、過去に金倉川でどのような危険があったかとなると私自身曖昧であるし、当自治会では居住年数が 20 年未満の人が 30%いること、情報が伝わっていないこと、所謂、地に人が殆どいないことから、過去の災害状況が伝承されていないのも無理からぬことかと思う。ある人を通じ、県に問い合わせるとそういうデータは残っていないとのことである。市もそうだったと思う。</p> <p>防災意識を高めていくには情報を共有することが大事で、何時、どの辺りで、どの程度のことがあったのか知る人がいるうちに聞き取りなどで調査し、まとめて頂きた</p>

い。

市長のコメント「市長として知る必要があるので調べてみたい」とのことであった。

(質問)

1.その後の調査の進捗状況を教えてください。

2.金倉川周辺居住者からの聞き取りは、非常に有効な手段であると思う。その話と、行政(市か県か?)の有する資料、あるいは、修復した業者からの聞き取りなどを合わせるとかなり全貌が分かると思うが如何でしょうか。

・四国災害アーカイブス、約30年前1992年多度津測候書編「多度津気象百年」に手掛かりとなる情報はないでしょうか。

・善通寺市における災害経験の記録(2020年更新)に金倉川に関することがふれられてないでしょうか。

(回答)

まず、金倉川での決壊や越水等による甚大な浸水被害の記録については、丸亀市の保有する資料や香川県中讃土木事務所への聞き取りではございませんでした。

次に、金倉川に関する被災の記録については、道路に関するものは、市道田村町金倉線の金倉川に架かる金倉橋が、平成16年10月、台風23号での増水により橋脚が沈下して通行不可能となりました。

また、河川に関するものは、中讃土木事務所に残る平成13年以降の記録では、平成17年7月の大雨、平成23年9月の台風12号、台風15号、平成25年9月の大雨と台風17号、平成27年7月の台風11号、平成29年10月の台風10号、平成30年7月の西日本豪雨、9月の台風24号時のものがありました。主な原因と被災の状況としては、降雨による増水で川側の堤防表面が侵食されたものでした。

(別紙位置図参照)

「四国災害アーカイブス」の金倉川に関する最も古い記述は、明治29年(1896)8月30日の暴風雨により、金倉川が氾濫したとあります。また、「善通寺市における災害経験の記録」にも記載されています。アーカイブスは、過去に四国で発生した災害に関する情報が、インターネットで提供されており、香川県で過去に発生した災害は、約6,000件登録されています。この情報は、どなたでも見ることができますので、コミュニティでもご活用いただければと思います。